

# DIA

## 遮熱塗料 標準色

【超耐候・超低汚染】ターペン可溶形変性無機塗料（遮熱タイプ）

### ダイヤスーパーセラマイルドIR

遮熱型

超耐候型

超低汚染型

難燃性

高硬度

超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドシリコン樹脂塗料（遮熱タイプ）

### ダイヤナチュラルシリコンType2IR

遮熱型

高耐候型

超低汚染型

# 遮熱塗料 標準色

## 屋根色

ダイヤスーパーセラミマイルドIR

ダイヤナチュラルシリコンType2IR

日射反射率は右記参照下さい。 ㊟→ダイヤスーパーセラミマイルドIR  
㊞→ダイヤナチュラルシリコンType2IR



↑ IR-01 ㊟63.3% ㊞58.6%



↑ IR-02 ㊟49.4% ㊞調色不可<sup>(注)</sup>



↑ IR-03 ㊟68.7% ㊞59.9%



↑ IR-04 ㊟55.9% ㊞51.4%



↑ IR-05 ㊟66.4% ㊞67.2%



↑ IR-06 ㊟43% ㊞50.6%



↑ IR-07 ㊟33.4% ㊞46.9%  
(JIS規格外\*)



↑ IR-08 ㊟65.9% ㊞63.7%



↑ IR-09 ㊟60.1% ㊞51.4%



↑ IR-10 ㊟46.4% ㊞46.6%



↑ IR-11 ㊟60.4% ㊞52.1%



↑ IR-12 ㊟43.1% ㊞46.9%



↑ IR-13 ㊟35.7% ㊞43.9%  
(JIS規格外\*)



↑ IR-14 ㊟62.2% ㊞57.8%



↑ IR-15 ㊟43.2% ㊞50.3%



↑ IR-16 ㊟38.1% ㊞46.2%  
(JIS規格外\*)

(注) ダイヤナチュラルシリコンType2 IRは調色不可です。

### 共通注意事項

- ※日射反射率は JIS K 5602の試験に基づいて、近赤外線波長域を測定したものであり、下地の状態や塗装仕様等により異なる場合があります。
- ※サンプルは紙に塗装している為、実際の仕上がり色とは多少異なる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
- ※広い面積に塗装した場合、見本帳よりも明るく見える場合があります。
- ※色見本は、直射日光の当たらない室内で保管して下さい。
- ※遮熱用の標準色は、特殊な調色をしていますので塗布量が少なくとも色相が変わって見えることがあります。
- ※屋根用の標準色を壁にご使用いただくことは可能です。
- \* JIS K 5675「屋根用高日射反射率塗料」の日射反射率に関する品質規格に適合しません。

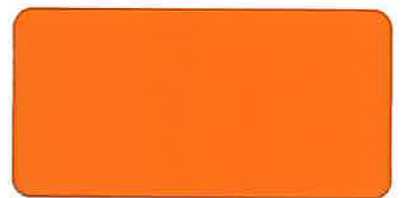
# 壁色



↑ IR-30      ◎75.2%    Ⓝ86%



↑ IR-31      ◎66.4%    Ⓝ70.8%



↑ IR-32      ◎64.1%    Ⓝ74%



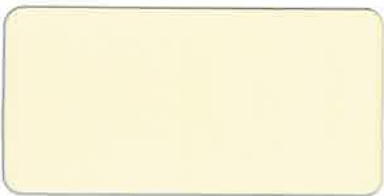
↑ IR-33      ◎74.1%    Ⓝ82%



↑ IR-34      ◎69%      Ⓝ73.3%



↑ IR-35      ◎52%      Ⓝ59.6%



↑ IR-36      ◎74.2%    Ⓝ83%



↑ IR-37      ◎70.3%    Ⓝ76.7%



↑ IR-38      ◎53.2%    Ⓝ61.1%



↑ IR-39      ◎72%      Ⓝ80.6%



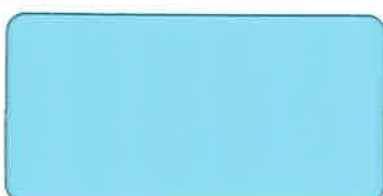
↑ IR-40      ◎72.6%    Ⓝ82.1%



↑ IR-41      ◎59.9%    Ⓝ66.9%



↑ IR-42      ◎71%      Ⓝ77.6%



↑ IR-43      ◎78%      Ⓝ81.9%



↑ IR-44      ◎69.6%    Ⓝ72.3%



↑ IR-45      ◎71.2%    Ⓝ81.5%



↑ IR-46      ◎75.4%    Ⓝ79.2%  
(JIS規格外\*)



↑ IR-47      ◎62.9%    Ⓝ65.6%



↑ IR-48      ◎74.8%    Ⓝ82.3%



↑ IR-49      ◎73.5%    Ⓝ80.1%

# ダイヤ スーパーセラマイルドIR ダイナチュラルシリコンType2 IR

## 標準施工仕様

### ●コロナル屋根の塗替え(フッ素樹脂塗料下地を除く)

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	下地調整	各工事仕様に基づいて、省化部のケレン、補修、汚れの除去等を行って下さい。						
2	下塗り	ダイヤSPRカラープライマー(ホワイト) 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	7kg 1kg 0~1%	0.16kg/㎡ 50㎡/セット/1回	1~2	(4時間~7日)	4時間~7日	中毛ローラー、刷毛
3	上塗り	ダイヤスーパーセラマイルドIR 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	10kg 2kg 0~3%	0.30~0.35kg/㎡ 35~40㎡/セット	2	4時間~7日	—	中毛ローラー、刷毛
3	上塗り	ダイヤナチュラルシリコンType2 IR 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	12kg 2kg 1~2%	0.25~0.35kg/㎡ 40~56㎡/セット	2	3時間~7日	—	中毛ローラー、刷毛
4	緑切り	水切り部で上下の重なり部分が塗料でつまっている場合は必ず皮スキ・カッターなどを用いて緑切りを行なって下さい。						

※間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)の場合です。冬期・夏期では、温度・湿度によって間隔時間にかかりの差異がありますので注意して下さい。  
※ダイヤSPRカラープライマーはホワイト、ダイヤスーパーセラマイルドIR、ダイヤナチュラルシリコンType2 IRは標準色を使用して下さい。 ※ダイヤSPRカラープライマーは、下地の状況が悪く、吸い込みが激しい場合は2回塗布して下さい。

### ●金属屋根塗替え(フッ素樹脂塗装鋼板の塗替えは除く)

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	下地調整	各工事仕様に基づいて、省化部のケレン、補修、汚れの除去等を行って下さい。						
2	発錆部補修塗り	ダイヤHSイエボサビ#200A(ホワイト) 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	14.4kg 1.6kg 0~2%	0.16kg/㎡ 100㎡/セット	1	—	4時間~7日	中毛ローラー、刷毛
3	下塗り	ダイヤHSイエボサビ#200A(ホワイト) 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	14.4kg 1.6kg 0~2%	0.16kg/㎡ 100㎡/セット	1	—	4時間~7日	中毛ローラー、刷毛
4	上塗り	ダイヤスーパーセラマイルドIR 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	10kg 2kg 0~3%	0.30~0.35kg/㎡ 35~40㎡/セット	2	4時間~7日	—	中毛ローラー、刷毛
4	上塗り	ダイヤナチュラルシリコンType2 IR 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	12kg 2kg 1~2%	0.25~0.35kg/㎡ 40~56㎡/セット	2	3時間~7日	—	中毛ローラー、刷毛

※間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)の場合です。冬期・夏期では、温度・湿度によって間隔時間にかかりの差異がありますので注意して下さい。  
※ダイヤHSイエボサビ#200Aはホワイト、ダイヤスーパーセラマイルドIR、ダイヤナチュラルシリコンType2 IRは標準色を使用して下さい。

### ●外壁面の仕上げ(フッ素樹脂塗料下地を除く)

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	下地調整	各工事仕様に基づいて、省化部のケレン、補修、汚れの除去等を行って下さい。						
2	下塗り	ダイヤSPRカラープライマー(ホワイト) 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	7kg 1kg 0~1%	0.10~0.15kg/㎡ 54~80㎡/セット	1	—	4時間~7日	中毛ローラー、刷毛
3	上塗り	ダイヤスーパーセラマイルドIR 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	10kg 2kg 0~3%	0.30~0.35kg/㎡ 35~40㎡/セット	2	16時間~7日	—	中毛ローラー、刷毛
3	上塗り	ダイヤナチュラルシリコンType2 IR 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	12kg 2kg 1~2%	0.25~0.35kg/㎡ 46~56㎡/セット	2	3時間~7日	—	中毛ローラー、刷毛

※間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)の場合です。冬期・夏期では、温度・湿度によって間隔時間にかかりの差異がありますので注意して下さい。  
※ダイヤSPRカラープライマーはホワイト以外に、ダイヤアレスフィラーも使用可能です。 ※ダイヤスーパーセラマイルドIR、ダイヤナチュラルシリコンType2 IRは標準色を使用して下さい。  
※ダイヤSPRカラープライマーは、下地の状況が悪く、吸い込みが激しい場合は2回塗布して下さい。 ※既存塗膜の種類によりフタリング(シワ)を生じることがありますので、あらかじめ目立たない箇所を確認して下さい。

## 包装単位

ダイヤHSイエボサビ#200A(ホワイト) ……16kg(基剤14.4kg/硬化剤1.6kg)セット  
ダイヤSPRカラープライマー(ホワイト) ……8kg(基剤7kg/硬化剤1kg)セット  
ダイヤシンナーN ……16%  
ダイヤスーパーセラマイルドIR ……12kg(基剤10kg/硬化剤2kg)セット  
ダイヤナチュラルシリコンType2 IR ……14kg(基剤12kg/硬化剤2kg)セット

## 施工・管理上の注意

### 【塗膜の調整(効果)

- 塗膜面は、汚れや損傷を与えないよう養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。
- 素地に付着しているゴミ、ほこり、カビ、塵など、高圧水洗浄などで十分に除去して下さい。洗浄は高圧水洗浄ができません場合は、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤブラシなどを用いて取り除いて下さい。洗浄後は十分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分、重ね部、フックボルト周辺などは入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮いたり、剥れたり、膨らんでいる箇所を除去して下さい。
- 寒冷地における屋根材は、塗膜の付着が著しく劣化する場合があります。下地が乾く必要があります。下地乾燥が不十分な場合、塗膜剥離の原因となり、光沢がないなどの仕上がり不良になりますので、入念に行う必要があります。
- 下地表面が劣化し、吸い込みが大きくなっている場合は2回塗布して下さい。

### 【材料の保管・管理】

- 開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- 材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- 下記の製品は危険物ですので、火気や換気に十分注意して下さい。  
ダイヤHSイエボサビ#200A、ダイヤSPRカラープライマー、ダイヤシンナーN、ダイヤスーパーセラマイルドIR、ダイヤナチュラルシリコンType2 IR
- 【施工】  
①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合は施工を避けて下さい。また作業後、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。  
②塗料は使用前に十分攪拌し、均一に混合してから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。  
③材料は付属乾機または取り外し可能な乾燥機で十分に乾燥して下さい。塗付面周辺の養生を完全に乾燥し、施工時建物の周辺に飛散しないよう注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと壁が残ったりになります。  
④乾燥時は、温度、湿度、および、風等により差を生じます。  
⑤コンクリートに使用する場合は必要十分な吸水力以上のものをご使用下さい。  
⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分な場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。  
⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの場合とこままで仕上げして下さい。同一屋根面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。  
⑧施工後24時間以内に降雨、結露等の影響で白化や色ムラが発生し、屋根塗付面に残る場合があります。

## 適用下地

【屋根】・新設金属屋根(銅板、亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板))  
・金属屋根の塗替え: アクリル樹脂塗料、ポリウレタン樹脂塗料、アクリルシリコン樹脂塗料塗装面(フッ素樹脂塗装鋼板の塗替えは除く)、特殊ポリエステル樹脂塗料  
・コロナル屋根の塗替え(フッ素樹脂塗料下地を除く)  
【壁】・建物の外壁などの仕上げ(フッ素樹脂塗料下地を除く)

- 本施工に入る前に詳細塗塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
- 希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄過ぎると希釈しに仕上がらないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
- 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 一度に厚塗る色分けや発泡が生じる場合があるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- 塗料の差により、塗布量が変わる場合があります。
- フッ素や無機系などの難接着塗料が塗られている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがあります。ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。
- 可成り長時間及び塗膜乾燥は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
- 使用した器具は適宜に洗浄して下さい。放置すると硬化して洗浄することが難しくなります。
- 乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差が生じます。
- 濁色や原色に近い色の場合、強くなる色が取れる場合があります。
- 下地の吸い込みムラにより発泡が生じる場合があります。
- ローラーと上塗りを混合するとゲル化する恐れがありますので、容器・中毛ローラーなどの共用は避けて下さい。
- 上塗りを施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合は高圧水洗浄(ダイヤガンコンローラーまたはダイヤドローラー)を塗布して下さい。
- 材料は使用前に十分攪拌し、均一に混合してから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- 小出し塗膜する場合は、混合のずれが生じないよう、必ず秤・上皿電子天秤等を用い、重量比の配合割合は厳守して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- ダイヤスーパーセラマイルドIRを施工する場合は、A液、B液混合後15~20分程度熟成して下さい。色によって異なる場合があります。
- 施工後、塗膜が乾燥するまでに、降雨などにより雨の影響を受ける状態が継続された場合、成膜性能が発現しないことがあります。乾燥までに降雨や積雪、結露が予想される場合は施工を避けて下さい。
- 予想外の降雨などが発生した場合は、シート養生などを行い、塗膜面が濡れないよう対策を講じて下さい。
- 雨上がり直後、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。雨降りでない留付や剥離、水切りが不十分な面や窓周り及びその下側面などは、低汚染性能が発現しないことがあります。
- シーリング材などに含まれる可塑剤、煤煙や油類、サビなどが原因の汚染物質に対しては、低汚染性能が十分に発揮されません。
- 上塗は塗布量を厳守し均一に施工して下さい。塗布量が少ない場合は低汚染性能及び遮熱効果が十分に発揮されません。
- 塗布面の吸い込みが大きい場合は、下塗などにより吸い込みを少なくし、上塗が塗布面に吸い込まないように行いして下さい。表面に上塗材が十分に確保されていないと耐水性、低汚染性能及び遮熱効果が発揮されません。
- A液とB液は指定の割合で混合し、電動攪拌機を用い十分に混合(2分以上)して下さい。
- A液とB液の混合比率が不適切であったり、B液を調整していない場合は、低汚染性能及び遮熱効果が発揮されません。
- タッチアップに使用する場合は、上塗のA液、B液の缶を良く振り、洗分離していないものを指定の割合で計量し、電動攪拌機を用い同様に混合し使用して下さい。
- A液とB液の混合後は可成り時間以内に使用して下さい。可成り時間を過ぎた場合、作業性や仕上がり、低汚染性能及び遮熱効果が低下する場合があります。

### 【安全衛生上の注意】

- 取扱いは、できるだけ皮膚と触れないように、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 取扱後は、手洗い及びうがいを行って下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
- 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- 目に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 中身を切った後から廃棄して下さい。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変わったときには医師の診断を受けて下さい。
- 臭い、蒸気等を吸い込んだ場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

### 【その他】

- その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
- 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意事項については仕様書等をご確認ください。
- 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意事項については安全データシート(SDS)をご確認ください。

この見本帳に記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。この見本帳の使用有効期限は、2026年4月ですのでそれ以降のご使用は避けて下さい。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

(23.4月現在) 23.04.2000 SJ

頒布価格 1,544円